

■自由意見への回答

区分	自由意見（主旨抜粋・要約）	担当部課	回答
手続き・届出	様々な支援の手続きが分かりづらい。一覧表などをつくり、もっとわかりやすくしてほしい。（広報、オンラインLINEなどを活用して）そうすれば市民もっと行政に興味を持つと思う。	広報広聴課	ご意見のとおり、情報発信の質が市民の皆様の意識や行動の変化に影響します。市民と行政が共に考え、行動するまちづくりを推進できるよう、わかりやすさを意識した情報発信に努めます。 現在のところ、様々な支援の手続きについては、市ウェブサイトから「手続きナビ」が利用できます。また、AIチャットボットでは、調べたい手続きに関する内容をチャット形式で質問できますのでご利用ください。
税	市民税を減税して欲しい。払っている市民税に対しその分の恩恵を受けている実感が無いし、市民の意見を届けるチャンネルも少なく感じる。だから西尾市への愛着指数が上がらない。	広報広聴課 税務課	【広報広聴課】 市では、市民の皆様から広くご意見をお聴きするため、個人のご意見・ご要望等をお寄せいただく「市民の声」制度のほか、市政に参加する機会の少なかった女性や若い世代と市長が直接対話できる「女性と語るまちづくりトーク」、「若者と語るまちづくりトーク」及び「学生議会」を開催しています。 また、小学校区ごとに「市長と語る市政懇談会」を開催して、各地域の課題・要望等について質疑応答したり、「出張・市長のどこでもトーク」を開催し、特定のテーマについて意見交換をしたりしています。 今回実施した市政世論調査も、市政等に対する市民の皆様のを伺う貴重な機会と考えています。 今後も、あらゆる機会を捉え、様々な立場の方の声をお聴きし、市政への理解と参加促進を図るとともに市民目線のまちづくりを進めることで、市への愛着度向上に努めてまいります。 【税務課】 市民税につきましては、所得に応じた税額を負担していただいております。 また、市民税は行政サービスの費用に充てる重要な財源となっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
保険・年金	市民税、介護保険料、後期高齢者保険料を大幅に下げしてほしい。年金生活では支払いが困難で将来が不安。高齢者を大切にする市政を進めてほしい。	税務課 長寿課 保険年金課	【税務課】 市民税につきましては、所得に応じた税額を負担していただいております。 また、市民税は行政サービスの費用に充てる重要な財源となっておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。 なお、生活困窮や災害など一定の要件に該当される場合には、減免・免除を受けられることがあります。 【長寿課】 介護保険料は、介護保険のサービスを提供するために必要な費用などから市が算出し、所得に応じた保険料を負担していただいております。西尾市では、市民税非課税世帯の方の保険料は国基準よりも軽減する措置をとっております。なお、生活困窮や災害など一定の要件に該当される場合には、減免・免除を受けられることがあります。 【保険年金課】 後期高齢者医療制度では、各都道府県の医療給付費など必要な費用総額から、公費負担分などを除いた額を基に、都道府県単位で運営する広域連合が決定することとされています。愛知県は、愛知県後期高齢者医療広域連合が保険料を決定していますので、西尾市だけ保険料を下げることはできません。
出産・子育て	子育て支援以前に不妊に対する人の保障を考えてほしい。	健康課	平成18年度から一般不妊治療費の助成事業を開始し、現在は一般不妊治療費及び生殖補助医療費等の保険適用分のうち、自己負担の一部を助成しています。
出産・子育て	こども園の定員を増やしてほしい。兄弟で違うこども園に行くと費用がかかるし、行事などでも覚えることが増えて大変。	保育課	西尾市全体の保育のニーズ、定員数を考え適正に管理をしています。
出産・子育て	学童が2世帯で親と暮らしていると親が75才まで預けられない。西尾市はひどい！	子育て支援課	児童クラブの利用を希望する方が年々増加しており、利用申込みをしたにもかかわらず入会できず、待機する児童が多く発生している状況です。近くに親族等がおらず、お子さんを預ける先が限られている家庭を優先するため、同一敷地内に74歳以下の祖父母が住んでみえる方には、保育ができない理由の資料（就労証明など）の提出をお願いしています。 今後は、児童クラブの利用を必要としている方の状況や近隣市の状況を再度確認し、多くの方に児童クラブを利用していただけるよう、基準の見直しを検討してまいりますので、ご理解ください。
福祉	障がい者が親亡きあとも幸せに安心して過ごせる環境を整備してほしい。	福祉課	親亡きあとの問題の対策として、成年後見制度を利用することで障がい者の代わりに財産を管理したり、本人の身上保護をしたりする人を配置することができます。成年後見制度及び日常生活自立支援事業は市民の認知・理解がまだ低いため社会福祉協議会内に設置しております成年後見センターによる講演会や勉強会の開催、「社協だより」等で広く市民へ周知を行います。 障害者の方の宿泊を伴うサービスとしましては、グループホーム（共同生活援助）、短期入所サービスがあります。グループホーム（共同生活援助）は主に夜間において共同生活を営む住居で入浴、排せつ、食事等の介護や日常生活上の援助を行い、短期入所は自宅で介護を行っている方が病気等の理由により介護を行うことができない場合に施設で宿泊、入浴、排せつ、食事等必要な介護を行っています。
福祉	高齢者も安心してきて充実した市にしてほしい。車に乗れなくなったときの移動など、楽しんでもできるようにしてほしい。	長寿課 地域つながり課	【長寿課】 日常生活に利用してもらえるよう交通手段の確保が困難な75歳以上の高齢者世帯には所得要件などにより、タクシー利用券（月あたり1,500円（500円×3枚））を交付しています。詳細は長寿課にお問い合わせください。 【地域つながり課】 現在、市内には鉄道、コミュニティバス、路線バス、いこまいかーが運行しており、一色地区については、令和7年度からコミュニティバスに代わる相乗りタクシーを運行予定です。これらの公共交通により、日常生活に必要な移動を確保しております。

■自由意見への回答

区分	自由意見（主旨抜粋・要約）	担当部課	回答
健康・医療	AED設置を全コンビニと協定してほしい。	健康課	本市と包括連携協定を締結している縁から市内のセブン-イレブン全店舗（20店舗　令和7年1月現在）にAEDを設置しています。なお、西尾市内に24時間利用可能なAEDは市設置のものだけでも53か所設置されています。このため市内にあるセブン-イレブン以外のコンビニとAED設置協定を締結していく予定は今のところありませんが状況に応じて検討してまいります。なお、お近くの設置場所はあいちAEDマップ（ https://aed.maps.pref.aichi.jp/ ）でご確認いただけます。
健康・医療	高校生までは医療費を無償にしてほしい。	保険年金課	18歳までの医療費の助成につきましては、入院分を対象に実施しております。通院分については現在考えておりません。
環境・衛生	街路樹や道路の分離帯、花壇などをきちんと整備してほしい。荒れた景色を見るとその市が廃れているように感じる。ごみをネットだけで保護している町内があるが、もっとしっかりとした物を用意してほしい。	ごみ減量課 土木課	【ごみ減量課】 ごみステーションの設置及び管理は町内会に依頼しております。設置場所により、ボックス等を設置することが難しいごみステーションもありますが、ご利用のごみステーションのことについては、町内の町内会長または衛生委員へご相談ください。 【土木課】 主な幹線道路の街路樹につきましては、年1～2回の維持管理作業を実施しております。歩行者及び車両の通行に支障となると判断した箇所につきましては随時実施しながら、今後も適正な維持管理に努めてまいります。
環境・衛生	公園に雑草が多く残念。	公園緑地課	公園の維持管理は市内の造園業者やシルバー人材センターに委託しており、草刈りは年間2～3回実施していますが、草刈り作業が追いつかずにご不便をおかけしております。 本市の財政状況では委託による草刈りの回数を増やすことは難しいため、必要に応じ市職員が草刈りを行っています。行政による維持管理だけで雑草を減らすには限界がありますので、地域の皆さまにご協力いただけるような管理方法を含めて検討してまいります。
環境・衛生	分別ごみについて区分が曖昧だと感じる。特にプラスチックごみの区分が明確でない。	ごみ減量課	ごみの種類は日々多様化しており、現在のごみ分別区分に当てはまらないような素材や様々な素材の複合物が出てきます。分別につきましては、クリーンセンターでの処理が可能か、どの程度のものでリサイクルが可能かなどを確認し、できる限り分かりやすく、資源化できるものはできるだけ資源物として回収していけるような分別方法を検討してまいります。また、プラスチックについては、基本的にプラマークが付いたものをプラスチック製容器包装として出していただき、それ以外の硬質プラスチックなどのプラスチック製品は燃えるごみとして出していただいております。
環境・衛生	公園のトイレや環境の管理がしてないと行く気にもならないので、西尾城くらい綺麗に大事にしてもらいたいなあと思う。最近近所の犬が散歩の後のフンの始末をしておらず大変不快。子供の通学路に糞がいつもあるので踏んでしまう事もあるみたい。猫も放し飼いでいる人がいて庭に糞、尿をされて困っている。快適なまちづくりの為にもう少しルールを守ってもらいたい。ペットも増えているのでルールの徹底や処罰も考えてもらいたい。	環境保全課 公園緑地課	【公園緑地課】 公園の維持管理は市内の造園業者やシルバー人材センターに委託しており、年間2～3回の草刈りを実施するなどしておりますが、作業が追いつかずにご不便をおかけしております。 本市の財政状況では維持管理の委託内容の充実をはかることは難しいため、地域の皆さまにご協力いただけるような管理方法を含めて検討してまいります。 また、ペットの糞害対策としては、対象の公園にペットに関する注意看板を設置し糞の後始末等を周知しております。 【環境保全課】 西尾市では、犬の糞にお困りの町内会に、犬の糞害防止啓発看板を配布して活用していただいております。 看板の申請・受け取りは、設置場所の選定や設置後の管理があることから町内会長に行っていただいております。看板が必要な場合は、町内会長経由で環境保全課にお問い合わせください。 また、猫の飼い方等につきましては、町内会長から要望があれば、愛知県動物愛護センターが作成しているチラシを提供して回覧していただいておりますので、犬の看板同様ご活用ください。 さらに、猫の侵入・糞尿等の被害でお困りの方には、1か月間無料で猫よけ器の貸出を行っておりますので利用ください。 犬や猫の飼い方等の周知につきましては、市ホームページや広報にしておに犬猫の飼い方等を掲載することで、ペットとの付き合い方やマナーを広く市民の皆様へ周知しております。 参考までに、動物（犬猫）に関する指導等につきましては、動物の愛護及び管理に関する法律第25条により愛知県が実施することとなっておりますので、愛知県動物愛護センターにご相談いただけますようお願いいたします。
行政	「ほっとする」「キラキラ」「夢」など目標が抽象的すぎる。行政として「〇〇する」など具体的な目標を示してほしい。町内会も各町内会によって差が激しい。	秘書政策課 地域つながり課	【秘書政策課】 にしお未来創造ビジョン（第8次西尾市総合計画）やその実施計画書に、目標数値や具体的な事業内容を掲載しております。詳細は市ホームページでご確認ください。 【地域つながり課】 町内会毎の差については各地域によって活動内容やおかれている事情が違うため差があると思います。町内会は任意団体であるため、一定の指針を市からご提示することはできません。
行政	名鉄西蒲線の存続問題。例えば、こどもの国を利用しての野外フェスティバル、鉄道ファンを利用して全国から旅行客を取り込む等、美しい車窓の路線を生かして欲しい。	地域つながり課	地域公共交通の維持・確保は、交通分野の課題解決のみならず、将来にわたり住みたい・住み続けたいと思えるまちづくりにおいても重要であることから、市の基幹交通である名鉄西尾・蒲郡線の存続を大前提として考えています。また、域内における利用促進に留まらず、沿線の地域資源を観光資源として誘客推進に取り組んでいるものの、より多くの方に利用いただくためにも、今後も知恵を絞る必要があると認識しています。なお、地域住民の皆さんの鉄道利用はもちろん、多様な形で鉄道の維持・存続に関わっていただきたいと考えています。
行政	アンケートに回答したら地域クーポンをもらえる制度がほしい。	広報広聴課	アンケートへの回答に対して何らかの謝礼があれば、回答者にとって直接的なメリットとなります。例えば、千葉市ではウェブアンケートの回答者に「ちばシティポイント」を付与するなど、先進的な取組を実施しています。そういった他市の事例を参考に、調査研究してまいります。 https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/shichokoshitsu/kohokocho/web_research.html

■自由意見への回答

区分	自由意見（主旨抜粋・要約）	担当部課	回答
行政	公務員が積極性に欠けているように感じる。言われたことだけやるのではなく市民（利用者）目線になって、知らない・わからない人に教える姿勢を期待しています。	人事課	より良い行政サービスを提供するためには、指示されたことだけを行うのではなく、市民目線に立って自発的に考え、行動することは非常に重要なことだと考えております。また、困っている方を見かけたら職員からお声がけをし、説明する際にはなるべく専門用語は使わずに分かりやすい言葉で説明し、ただ伝えるだけではなく、相手に伝わるような丁寧な説明を心がけてまいります。
行政	スマートフォンやインターネットを使用したアンケートはやめてほしい。通信料の負担は誰がするか考えてほしい。時代の流れで一般的だと思われているが、それだけで社会を作り上げてほしくない。	広報広聴課	スマートフォン等によるウェブ回答では、集計事務の効率化や郵送料等経費の負担軽減を図ることができるため、今後も推進する必要があると考えます。 一方で、インターネットを利用できない環境の方や経済的な負担を感じられる方もいるため、通信料が発生しない紙媒体での回答も引き続き選択できるようにしています。
行政	市の職員は町内会の会合などに参加して、町民の声をもっと聞くべき。	人事課 地域つながり課	【人事課】 職員が市民の皆様の声を直接伺うことや職務外での多様な経験を積むことは、人間としての成長や豊かな人間関係の築きにとって重要だと考えております。そのため、西尾市では職員としての経験や知識を地域に還元し、地域活動への積極的な参加を支援する『職員地域貢献活動応援制度』を設けております。今後も職員が市民や地域と良好な関係を築きながら地域活性化や共創のまちづくりの促進を図れるようこの制度を活用してまいります。 【地域つながり課】 市民が快適で安全なまちをつくるには、町内会組織は非常に大切で必要不可欠な存在であると認識しております。町内会は任意団体であり、市職員が運営に関して参加することできませんが、政懇談会や市長どこでもトークは市民の方のご意見を伺う場となっております。
行政	無駄な書類の郵送代等業務のあり方の電子化をもっと早く行なってもらいたい。	秘書政策課 情報政策課 総務課	郵送代削減については、本市も重要な課題と認識しており、郵便物の電子化を有効な手段と考えています。電子化による効果が期待できる書類から、段階的に進めてまいります。
行政	西尾市のPRをもっと魅力が伝わるように行ってほしい。	広報広聴課	西尾市を身近に、そして大切に思っているからこそのご意見をありがとうございます。おっしゃるとおり、市の魅力がより伝わるようなPR方法を常に模索していく必要があります。そのためには、ターゲットとなる層や目的を明確にし、時流に乗った切り口で多彩なメディアを活用すべきと考えます。また、市全体で統一感のある情報発信を行うことも重要です。今後、本市のシティブロモーションの方向性を定め、より効果的に市内外に本市の魅力を伝えられるよう取り組んでまいります。
行政	家制度の崩壊で独居高齢者世帯や空き家住宅が増加するなど、地域社会の課題になっていると思う。放置すると市の将来に大きく影響すると思う。現在の町内会やコミュニティ組織では限界もあるので条例の制定、対策、支援組織の創立など、市の積極的な対応を要望する。	地域つながり課	空き家問題は全国規模で進行しています。市では町内会から空き家についての相談があれば、現地を確認し、空き家の関係者を探索し、関係者には空き家を適正に管理するよう指導をしております。市には空家についての条例はございませんが、平成27年より空き家等に関する特別措置法が施行されましたので、本市はその法律に基づき空き家問題に対応しています。
行政	シルバーではなく、PTAでもなく、老若男女の無料のボランティアを募って保育園、小学校、中学校の敷地周辺の側溝の掃除、草刈り、はみ出た枝の切り取り等をしてください。出会いの場にもなります。	地域つながり課 土木課 保育課 教育庶務課	【地域つながり課】 地域の方との交流にも繋がることから、地元町内会や小学校区の校区コミュニティ推進協議会へ相談する、協力依頼をすることが考えられます。 【土木課】 アダプトプログラムを活用し、保育園、小学校、中学校の敷地周辺の側溝の掃除、草刈り等をボランティアグループで、愛情と責任を持って清掃、美化に取り組むこともできます。 【保育課】 保育課では、会計年度任用職員として雇用した障害者の方に公立保育園等で清掃等をお願いしておりますので、新たにボランティアスタッフを募集をし実施をする予定はございません。 【教育庶務課】 学校では、PTA・地域住民・教職員が校内の清掃活動を行っており、現時点においては、ボランティアスタッフを募集して清掃活動を行う予定はございません。
住まい・まちづくり	空き地・空き家の具体的な対策、名鉄線の複線化、地域商店の活性化、他の市にはない強みを発見して可能性を拡大していく。	地域つながり課 商工振興課	【地域つながり課】 町内会から空き家についての情報提供があれば、空き家関係者を探索して、空き家の適正管理をお願いしております。空き家が適正に管理されていれば、借家にすることも可能になるものと考えております。修繕することができない空き家であれば、空き家を壊して、その土地を売却すれば新たな方がそこに住めることになります。市では空き家に関する業者と協定を結んでおり、空き家関係者から空き家の解体や売却の相談があればお受けしております。 【商工振興課】 中心市街地活性化事業の一環として、令和4年度から空き家空き店舗を活用した新規出店の誘致に取り組んでいます。令和6年度末までに累計15店舗の出店となる見込で、エリア内外からの来訪者でにぎわっている店舗も多く、今後も積極的に民間事業者と連携したまちなかの魅力向上に取り組んでまいります。
住まい・まちづくり	人口減少をいかに阻むかが「まちづくり」の基本かと思っています。国内外問わず「人」を受け入れることができる環境づくりが大切だと思う。	秘書政策課	子育て支援の充実により、若年層の定住を促進するとともに、移住促進策として住環境整備や地域の魅力発信を行います。さらに、女性の働きやすさ向上、外国人への多言語対応や高齢者向け医療・介護の充実を図り、全世代が住みやすい環境を整えることで、持続可能なまちづくりを実現します。
交通・犯罪	高齢化社会に向かい、近くの「八百屋」がなくなり、交通弱者としては生活が難しい。「コミュニティバス」では不十分なのでなんとかしてほしい。免許も返納できない。。	地域つながり課	現在、市内には鉄道、コミュニティバス、路線バス、いこまいかーが運行しており、一色地区については、令和7年度からコミュニティバスに代わる相乗りタクシーを運行予定です。これらの公共交通により、日常生活に必要な移動を確保しております。

■自由意見への回答

区分	自由意見（主旨抜粋・要約）	担当部課	回答
交通・犯罪	西尾市の市街地だけでなく旧幡豆郡などのバスの路線を増やしたりするなど、外側の地域にもっと目を向けてほしいと思います。	地域つながり課	一色地区では、現在コミュニティバス（いっちゃんバス）を運行していますが、利用者が少なく、費用対効果の観点から令和6年度で廃止し、代替交通として相乗りタクシーの制度を導入します。また、吉良及び幡豆地区では、タクシーを活用したいこまいカーを運行しています。タクシーによる輸送では、バスのような定時定路線の運行ではないものの、自宅から目的地までドアツードアで移動することができることから、バスと同等あるいはそれ以上の利便性を確保していると認識しております。
交通・犯罪	上横須賀駅のロータリーが本当に必要なのか疑問。ただでさえ西尾線が乗客減少なのに。ロータリーを作り工場からのバスを停車させた所で利用が増えるとは思えません。朝晩のホワイトウェイブあたりの車の混雑解消になるとは思えず。	都市計画課	ロータリー整備は、駈馬瀬戸地区に株式会社デンソーによる新工場が建設されることや関連企業等の進出が期待されることを考慮し、現在においても周辺には多くの自動車関連企業があることから慢性的な渋滞となっているため、鉄道利用を企業に促すためにも有効であると考えております。 また、駅東側で進めている土地区画整理事業により横須賀地区への定住者増を見込んでおり、ロータリー整備による利便性の向上は、駅利用者の増加が期待され、名鉄西尾蒲郡線の利用促進に繋がると考えております。
交通・犯罪	イベント時の交通系で不満があります。例えば一色の大提灯では蠟燭を提灯内へ入れる場面の時に西尾駅行最終バスが発車します。鳥羽の火祭りでは終了後名鉄三河鳥羽駅は無人駅なので人でごった返します。市として何か対策とか出来ないのでしょうか？あとくるりんバスも旧西尾市内のみではなく一色や吉良や幡豆にも走らせてもらえれば利便性がある様な気がします。	地域つながり課 観光文化振興課	【観光文化振興課】 「三河一色大提灯まつり」では、19時から20時ごろまで献灯祭が行われ、お帰りの際にご利用いただくバスの最終便時刻をチラシ等でご案内しています。西尾駅行きの最終便は「名鉄東部交通バス一色線(西尾駅行)20：17発」で、臨時便が出ていますのでご利用ください。なお、碧南駅行きバスの最終便は「ふれんどバス(碧南駅行)21：24発」、吉良吉田駅行きバスの最終便は「ふれんどバス(吉良吉田駅行)22：24発」となっています。 「鳥羽の火祭り」では、駐車場に限りがあるため名鉄電車の利用を呼びかけています。名鉄電車利用者の安全を確保するため、祭り当日の混雑する時間帯は、三河鳥羽駅に名鉄駅員が派遣されスムーズに乗車できるよう対応していただいています。公共交通機関を利用してご来場・お帰りの際は、往復切符をご購入いただくなど、混雑の緩和にご協力いただければ幸いです。 【地域つながり課】 一色地区では、現在コミュニティバス（いっちゃんバス）を運行していますが、利用者が少なく、費用対効果の観点から令和6年度で廃止し、代替交通として相乗りタクシーの制度を導入します。また、吉良及び幡豆地区では、タクシーを活用したいこまいカーを運行しています。タクシーによる輸送では、バスのような定時定路線の運行ではないものの、自宅から目的地までドアツードアで移動することができることから、バスと同等あるいはそれ以上の利便性を確保していると認識しております。
教育	給食センターが統合されてから、とても不味くなったと子供が言っています。配達している時間から食べるまでの時間を考えると2時間程度あり、品質が保てないのではないですか。	教育庶務課	旧学校給食センター統合後の「西尾市学校給食センター」では、「食物アレルギー対応室の設置」や「作業工程ごとに調理場を区分」するなど、旧学校給食センターで実施できなかった高水準の調理及び衛生管理を行っております。 また、配送等に伴う給食の品質低下防止策として、新たに「保温食缶」も使用しております。 なお、学校給食センターでは、令和5年度から施設見学・試食会を開催しており、令和7年度も秋頃に開催を予定しております。令和6年度は応募者が多く抽選となりましたが、よろしければご応募ください。
教育	名古屋市のようにトワイライトスクールを各小学校で実施して欲しい。学童では不安があり、小学校の施設を使ってそのまま残れる教育環境を整えて欲しい。再任用や退職教員の活用。共働きが当たり前の昨今の家庭環境の中で、小学校低学年、中学年では配偶者の退職が余儀なくされているのが現実である。このような状況では人口減の中で公共サービスが整っている都市部へ若い世代がうつってしまう。地方活性化した市政はみな子育てや教育に力を注いでいる。	子育て支援課	名古屋市は各小学校で学童保育（児童クラブ）を実施しておらず、保護者の就労に関わらず受入れすることができるトワイライトスクールを実施していることに対し、本市では、各小学校で児童クラブを実施し、保護者が就労で家にいない家庭等のお子さんを対象にお預かりしております。ただ、児童クラブにおいて不安を感じられているとご意見をいただき、これを真摯に受け止めております。また、児童クラブは、質の高い保育の提供や安定した運営ができるよう、令和7年4月から児童クラブの運営の一部を民間委託し、保護者の皆様が安心してお子様を預けられるよう努めてまいります。
教育	「寺子屋にしお」の開設場所をもっと増やしてほしい。学童を申し込むほどではないが、イベントがある日や病院の受診など、時々低学年の子どもの居場所がない。定員ももっと増やしてほしい。	生涯学習課	寺子屋にしおは、学習やふれあい活動を通して、子どもたちの交流を深めるものであり、原則週2日参加できる方を対象としています。開設場所や定員につきましては、市としても更なる拡大ができるよう引き続き努めてまいります。 今回ご意見のありました病院の受診時などでは、子どもの預かりを「西尾市ファミリー・サポート・センター」が行っておりますのでよろしければご利用ください。
文化・スポーツ	幡豆地区の講座が少ない、いきいきセンターで料理教室やパン教室など食に関する講座をやしてほしい。	観光文化振興課 生涯学習課	【観光文化振興課】 文化交流センターでは、歴史や文化、音楽鑑賞などの講座を行っています。お寄せいただいたご意見を参考に、今後も市民の皆様が興味・関心を高めていただけるような講座の企画に努めてまいります。 【生涯学習課】 ご意見を参考に今後も魅力的な講座の企画に努めてまいります。 なお、幡豆地区の文化交流センターでも様々な講座を実施していますので参考にしてください。 また、生涯学習課では令和7年1月30日から「生涯学習講座情報サイト」をウェブ上で公開しています。本サイトでは、文化、スポーツ、健康、防災など幅広い分野の講座情報を集約し学びたい情報をいつでも簡単に検索し申込みすることができますので是非ご利用ください。

■自由意見への回答

区分	自由意見（主旨抜粋・要約）	担当部課	回答
文化・スポーツ	西尾市の無形文化財をもっと世間にアピールし、西尾市の文化を広める活動をして欲しい。	観光文化振興課 文化財課	【観光文化振興課】 国の重要無形民俗文化財に指定されている「鳥羽の火祭り」や、「田貫の棒の手」など市の無形民俗文化財に指定されている秋祭りについては、チラシやポスター、SNSを活用し、西尾市観光協会ははじめ関係機関とともに広く情報発信に努めています。今後も、祭りの魅力や認知度向上を図り、多くの方にご来場いただけるよう、関係機関と連携し、地域振興、観光・文化振興に努めてまいります。 【文化財課】 西尾市内の無形・有形民俗文化財の魅力を発信するために、記録映像や写真をインターネット上でまとめた「西尾祭時記 祭礼デジタルアーカイブ」を公開しています。 また、これまでに「鳥羽の火祭り」「三河万歳」などの8つの無形民俗文化財や、有形民俗文化財「一色の大提灯」についての紹介動画を製作・公開しています。今後も市内の無形・有形民俗文化財の情報発信に努めてまいります。
情報	市のホームページで調べたいことがあっても検索できない。どこに掲載されているかもわかりづらい。	広報広聴課	市ウェブサイトのトップページからサイト内検索ができます。検索したい内容のキーワードを入力して検索すると、関連ページが表示されますのでご利用ください。
情報	西尾市では良い取組を進めているので、その内容や取組状況をもっと市民に分かりやすく発信し認知させた方が良い。	広報広聴課	市の取組に関心を持ち、またその内容を評価いただきありがとうございます。 発信内容の工夫（キャッチコピーの作成／ストーリー性の追加／ビジュアル重視）や多彩なメディア（市LINE公式アカウントを含むSNS／広報紙／外部メディアとの協働）の活用、また市政懇談会や出前講座などの対話型の取り組みで、さらにわかりやすい発信を目指します。
観光	近隣の自治体及び企業と連携をとって観光資源の創出や交通網の拡充等、市外から西尾市に人が来てくれるような新たな施策がうてるといいと思われます。	秘書政策課	市外からの誘客を促進する方法の1つとして、近隣自治体や企業と連携し、広域的な観光ルートの整備やイベントの共同開催などプロモーションの強化が重要であると考えています。引き続き、多くの方が西尾市へ来ていただけるよう近隣自治体や企業と連携し、環境整備と魅力の発信に努めていきます。
産業	にしお得一ポンを知らない人やスマートフォンがない人も多く、不平等に感じる。市民全体に目を向けてほしい。	商工振興課	「にしお得一ポン」は、市内事業者の支援と西尾市公式LINE公式アカウント登録者を増加させ、行政サービスのDXのさらなる推進を図ることを目的として実施いたしました。 また、広く市民に周知するため、広報にしお、市公式LINE、市ホームページを活用して参りましたので、ご了承ください。
産業	憩いの農園を盛り上げる、地方から人を呼べる飲食店を増やすなど地域産業に力を入れてほしい。人が来れば市も活性化し、雇用もうまれると思う。誰もが住みやすく、楽しく優しい西尾市づくりを期待しています。	農水振興課	2022年3月に憩の農園ファーマーズマーケット、その後ファーマーズガーデンやイートビレッジがオープンし、市内外の多くの来客により憩の農園の賑わいが増してきております。引き続き盛り上げていけるように、憩の農園の主たる出品者である市内生産者がより良い農産物を生産できるように支援をしてまいります。
市民病院	市民病院の将来計画の検討(建て替え、売却)	管理課	当院では、高齢者人口がピークを迎えると言われる2040年に向けて、高齢化と疾病構造の変化に対応できる新たな医療施設が必要になると考えており、次期市民病院経営強化プランの中で、将来を見据えた新病院建設に向け、病院移転の意義や必要性も含めて今後慎重に検討してまいります。
施設	広い運動場が今まで子どもたちが楽しそうに遊んでいたのに、ボール遊びが禁止になったりして残念。近場で体を動かしてのスポーツができなくなっている気がする。	スポーツ振興課 公園緑地課	【公園緑地課】 ボール遊び禁止公園につきましては、地元からの要望により検討した結果、ボール遊び禁止としております。なお、多目的広場のある公園につきましては、ボール遊びのルールの明確化をして、地元の理解も得ながら、ボール遊び禁止の緩和を進めていきたいと考えております。 【スポーツ振興課】 スポーツ施設に関しましてはボール遊びを禁止していませんのでご利用いただければと思います。
施設	駐車場のある公園が非常に少なく困る。室内の遊び場もないので市外に出てしまう。広く利用しやすい公園や有料の室内遊び場をもっとつくってほしい。。	子育て支援課 公園緑地課	【公園緑地課】 駐車場のない公園は、近隣にお住いの方が、徒歩などで訪れていただくことを想定していることや子どもたちが遊べる場所を多く確保するために駐車場を配置しておりませんので、ご理解をお願いします。 【子育て支援課】 室内の遊び場については、令和9年4月オープン予定の生涯学習センター内に小学校低学年以下の子どもたちが思いっきり遊べる「子どもワクワク広場」を整備する予定です。
施設	新横須賀橋自体は非常に助かりますが、その橋から川と川の間への進入用道路設置に意味があるのでしょうか？	土木課	施設の管理者である愛知県に確認しましたところ、この進入用道路は河川（矢作古川、広田川）の管理用の通路とのことでした。日頃のパトロールや堤防の草刈、河川の浚渫などの工事を行う際に作業用車両が進入するために利用されます。
施設	（英語表記）西尾市は静かで良いです。すべてが素晴らしいです。日本語学校もあると良いですね。	学校教育課	西尾市教育委員会では、「日本語初期指導教室カラフル」と「多文化ルームKIBOU」で、外国にルーツを持つ日本語教育が必要な子供たちを支援しているため、日本語学校の設立については考えておりません。 「日本語初期指導教室カラフル」は鶴城小学校内に開設し、来日直後の児童生徒に最長3か月間、基礎的な日本語や生活習慣を指導しています。また、カラフルに在籍する多言語の日本語教育指導支援員が学校を巡回し、日本語指導を行っています。 「多文化ルーム KIBOU」では、就学前児童も含めた外国人児童生徒の不就学不就園調査を毎年実施し、そこで把握した児童生徒の就学・学習支援を展開しています。 このように学校・カラフル・KIBOUの連携を中心とした多文化共生教育体制を構築し、日本社会における社会的自立のための多角的な教育支援活動に積極的に取り組んでいます。

■自由意見への回答

区分	自由意見（主旨抜粋・要約）	担当部課	回答
施設	支所の建物にある自習室に飲食スペースを常設してほしい。スペースはあるが許可が必要とのことで、いちいち許可をもらうのは手間。	生涯学習課	多くの人が自習室を利用できるよう現段階では飲食スペースを自習室に常設することは考えておりません。現在、当日の貸室の空き状況に応じて、空いている貸室を飲食スペースとして開放しておりますが、今後は利用の許可なく利用できるようホワイトボードに掲示するなどして対応してまいります。
施設	サッカーや陸上競技のできるスタンド席のある立派な競技場があった方がいいと思う。近隣の市には複数あるが、西尾にはないので市民大会もいまいちだと感じる。	スポーツ振興課	西尾市スポーツまちづくりビジョン2040に基づきスポーツ施設の整備を行っており、総合グラウンドについては、陸上及びサッカーなどで使用可能な形に整備予定となっています。スタンドにつきましては、既設のものを使用する予定です。
施設	公園の遊具が新設されたと思うが、滑り台の滑る部分を南に向けないでほしい。ハツ面公園以外でも。素材にもよると思うが、だいたい熱くて滑ることができない。危なくて遊べない。公園に日陰を作って欲しい。植樹以外の方法で。	公園緑地課	遊具の向きについては、今後の公園づくりや再整備の参考といたします。日よけなどの施設については、公園全体の配置や予算の都合もあるため、これからの公園整備の検討項目といたします。
市議会	市会議員の数が多すぎる、まず半分に減らすべき、質も上がるし、財政も楽になる	議事課	西尾市議会では、令和3年12月に西尾市議会改革検討委員会を設置し、議員定数について、議会としての監視、政策立案及び民意吸収が十分に機能している人数となっているかといった視点に加え、他市議会の事例や議員研修会で知り得たことも参考にし、計13回にわたり検討をしました。委員会では30人（現行どおり）とする意見が大半でしたが、28人（2人減）とする意見もありました。委員会として一定の結論を出すため、委員間で考え方を共有し、検討を重ねた結果、議員定数は30人（現行どおり）とすることで決定しております。今後においても議員定数に関する検討については、議員間の議論を深めてまいります。
防災・災害	大雨が降ると家に水がきてしまう。年に1度は床下近くになる。災害にならないように早急に対応してほしい。	河川港湾課 下水道整備課	【河川港湾課】 全市域を対象とする総合的な雨水対策の方針と取組を示す「西尾市雨水対策マスタープラン（仮称）」を策定し浸水被害の軽減に努めてまいります。 【下水道管理課】 市街化区域において雨水管理総合計画の策定を行い、その中で浸水被害軽減対策を検討し、効果が高い対策から優先順位を定め、集中的に整備をすることで浸水被害の軽減に努めます。
防災・災害	災害時の備えが充実したまちづくり。震災が起きた場合、避難所は足りるのか、プライバシーを守るためのテントやダンボールなどはどれくらい用意されているのか、支援が必要な高齢者、障害者児の避難先は確保されているのか色々不安がある。	危機管理課	西尾市では、災害の種類に応じて、地区ごとに避難所を指定しています。地区の人口や想定避難者数、避難所の収容能力などを考慮し、現状の避難所数で対応できると考えています。避難所には、テント60張、エアーマット120枚、空気入れ4本、折り畳みベッド20台、LEDランタン60個を配備しています。また、支援が必要な高齢者や障害のある方の避難先となる福祉避難所は現在40施設ありますが、さらに福祉避難所の確保に努めています。ただし、避難所へ行くことだけが避難ではありません。プライバシーを守るためにも、自宅が安全な場合は在宅避難や、親せき・知人宅への避難もご検討ください。
防災・災害	巨大地震が起きたら具体的にどうしたらいいか各地域で避難所など詳しく文字と絵にしてほしい。避難訓練に参加したこともない、海も近いので、小学校体育館では津波への不安もある。しっかりとした導きをお願いしたい。	危機管理課	地震・風水害の避難行動フロー、町内会別の避難所について、下のURLでご確認ください。 災害時の避難については、日頃から家族と話し合っておくことが大切です。また、地域の避難訓練に参加いただき、地域の皆さんと避難について話し合っていたいただければ幸いです。 https://www.city.nishio.aichi.jp/kurashi/bosai/1010372/index.html
産廃処分場問題	産廃の件で、事業内容の変更は事実上撤回だと思うが、自動撤回を求める理由について説明してほしい。	環境保全課	市が「白紙撤回」を求める理由につきましては、産廃業者は産廃処分場建設計画を取りやめ、残土による盛土を行い、太陽光発電施設を設置する計画を「検討」している文書を市に提出しましたが、今後の状況次第では、産業廃棄物処分場に逆戻りすることが考えられます。 産廃問題は、産廃業者自らが「白紙撤回」を公にすることにより、市民の安心安全を担保する目的があると同時に、事業転換について住民と市が産廃業者と話し合いを進め、周辺住民の理解のうえ、新たな事業転換を考えていくことを目指しています。
外国人	外国人移住者が増えたが、交通違反や路上駐車、マナー違反など、マナーが悪い。通報しても現行犯でないと取り締まれないので、対策を強化してほしい。子どもの安全を最優先に考えて将来を守ってほしい。	危機管理課 地域つながり課	ご意見を西尾警察署にお伝えします。
その他	西尾出身の力士が十両上位になっても市として応援している様子がなく、残念に感じた。	スポーツ振興課	西尾市出身の魁勝関につきましては、市の広報紙において、初土俵以来の活躍を特集記事で紹介しており、十両に昇進することが決まった際には、表紙で写真と共に紹介しています。現在も場所ごとの戦績に注目しており、今後の活躍を期待しています。今後も、各種競技団体と連携を図りながら、トップアスリートの支援に取り組んで参ります。
その他	市役所職員の給与が西尾市民の所得より高い。西尾市は国の勧告に基づいて決めているのが不満です。国の基準は大企業の資料で算出されている。西尾市役所がこれに習って決めているのは異論です。市民所得の平均値で良いはずです。	人事課	職員の給与については、他の多くの地方自治体と同様に地方公務員法に基づいており、人事院の勧告を受けて給与改定の方針を決定しております。その方針に基づき条例改正案を議会に提出し、給与が決定されています。 職員の給与水準を適正に設定することは、職員の意欲向上や人材の確保、公務の公正かつ効率的な運営の確保に寄与するものと考えておりますので、今後も市民の皆様理解が得られるよう努めてまいります。
その他	スマートフォンをもってはいるが自信がない。高齢者も色々学習し、社会参加をしなくてはと思った。	情報政策課 長寿課	市では地域包括支援センターと連携し、地域の高齢者のニーズを考慮したうえで、高齢者向けのスマートフォン講座を実施しています。スマートフォン講座にご興味がある場合は、最寄りの地域包括支援センターにご相談ください。